



佐賀東高校×佐賀市議会 意見交換会を開催！

選挙権年齢が18歳に引き下げられてから、はや8年。学生生活を過ごす中で有権者となる世代の意見を聞き、交流を深めるため、令和6年2月2日に、高校生と議会広報広聴委員会との意見交換会を行いました。

市議会を訪れてくれたのは、佐賀東高等学校一年生(当時)の18人。「総合的な探究の時間」に、市の職員出前講座を活用し、「食品ロス問題」、「まちづくり」などを学びました。

当日は、各クラスの代表6人が、議場の演壇で広報広聴委員やクラスメイトを前に、作成したスライドを使い地域課題や解決策について発表しました。それぞれのテーマについて資料を工夫し、たくさん練習を重ねたことが伝わってくる、素晴らしい発表でした。

その後の意見交換では、委員と高校生の自己紹介に始まり、6人の発表それぞれに対する委員からのコメントや質疑応答を行い、双方にとって大変有意義な会となりました。



“ごみ問題”



“佐賀の産業”



“空き家問題”



“過疎化と経済活動”



“新幹線問題”



“佐賀の農業”



議場での緊張感あふれる発表、お疲れさまでした！

参加した皆さんの感想

・発表するのは緊張しましたが、議員さんがうなずきながら真剣に聞いてくれていたので、嬉しかったです。

・議場での発表はとても緊張しました。議員の人たちはこの緊張感の中で佐賀のために自分が言いたいこと、やりたいことを話しているのかと思うとすごいなと思いました。私は、人前に出て発表したり、話したりすることは苦手ですが、今回の発表で少し自信が付きました。とてもいい経験になりました。

・議員の方々の普段の活動や発表した内容についての感想を聞いてとても勉強になりました。



いつもは議案の審査などの会議を行っている議会棟会議室での意見交換

広報広聴委員の感想

5分という短い時間の中で、自分がこのテーマに取り組んだ理由、問題点、提案をまとめる。これは議員にとってもなかなか大変なことですが、皆さんは、素晴らしい発表をされました。

発表された内容は、多くの自治体で抱えている問題です。市民生活のことをよく考えており、本当に頼もしい子どもたちだと感じました。

この中から地方議員が出てきてくれることを切に希望し、期待をしています。このような機会をぜひ、また持たせていただきたいです。